

令和3年度第2回四国中央市男女共同参画審議会会議録

1. 開催日時 令和4年3月4日（金） 19時00分から20時20分
2. 場 所 市役所市民交流棟 2階会議室
3. 出席者 (委員長) 宮崎恵
(副委員長) 窪田幸子
(委 員) 篠原恵子、原田尋、西野友幸、田淵典子
久門美紀子、村上智子、鈴木秀明 (敬称略)
(事務局) 市民部長 大西賢治、地域振興課長 高橋博俊
地域振興課男女共同参画係 山川玲子、仁野葉月
(市民くらしの相談課) 宮崎小百合
(保健推進課) 石津薫、高橋敬子
4. 傍聴者 1名
5. 会議内容
 1. 開会
委員長あいさつ
 2. 議事
 - (1) 【関連施策ヒアリング】
 - ・DV支援事業について
 - ・がん検診推進事業、産後ケア事業について
 - (2) その他
 3. 閉会
6. 会議録 次頁のとおり

<p>委員長</p>	<p>委員長あいさつ</p> <p>●議事（１）DV支援事業について市民くらしの相談課より説明</p> <p>説明後、質問を受け付ける。</p>
<p>担当課</p>	<p>相談しやすくする取り組みについて伺いたい。</p>
<p>委員</p>	<p>出前講座で保育所へ行きパンフを配布、また様子のおかしい母親・子供への声掛けや周知を行っている。</p>
<p>委員</p>	<p>令和2年度に17件、令和3年度に18件の相談があったと聞いたが、これは単に件数が増えただけでなく、相談しやすい窓口が出来、また浸透していった結果と思いたい。気安く相談に行けるような雰囲気・窓口の周知をお願いする。</p>
<p>委員</p>	<p>市民くらしの相談課は最後の砦である。相談窓口の周知及びDVの啓発が必要となる。</p>
<p>委員</p>	<p>●議事（２）がん検診推進事業、産後ケア事業について保健推進課より説明</p> <p>説明後、質問を受け付ける。</p>
<p>担当課</p>	<p>父親がともに産後ケアを利用できる環境が必要。また訪問型を取り入れることで育児の場である自宅で夫もともに利用することができるのではないかと。</p>
<p>委員</p>	<p>男性の育児参加は必要である。ママパパ学級では、父親の積極的な参加を促している。訪問型については、次年度の検討課題としている。</p>
<p>委員</p>	<p>専門家のケアがあることは心強い。</p>
<p>委員</p>	<p>様々な事業により、いい方向に向かっていると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>地域においては、今後、外国人実習生も多く入国されると思うが、がん検診の推進において、国を超えて若い方達の命を守る活動に取り組んでいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>●議事（２）その他として、前回の審議会での質問事項、相談窓口冊子、来年度事業計画について事務局より説明</p>
<p>委員</p>	<p>新任委員の挨拶</p>
<p>委員</p>	<p>男女共同参画推進ネットワーク会議 TOMINI の事業紹介</p>
<p>委員</p>	<p>●フリートーキング</p> <p>以上で、令和3年度第2回四国中央市男女共同参画審議会を閉会する。</p>